

# みなしご通信



## 東日本大震災

とある団体から震災当初の写真提供を頼まれ古いSDカードを見たら、いろんなことを思い出しました。「あの時の写真を見たらダメじゃね。衝撃的すぎてすぐにあの頃に戻ってしまう。」



普段テレビを観ない私が2011年3月11日に起きた東日本大震災を知ったのは翌日の3月12日。すぐに宮城県に行くことを決めました。しかし、お金が入ったらすぐ使う私に(当時も今も)お金の余裕などなく、ブログで地元広島の人々に支援を求めました。ところが「混乱を招く」「今行ったら何が出来る」「一般人には何も

できない」「国に任せろ、自衛隊に任せろ」私の意に反し協力するどころかバッシングの雨嵐。ぜんぜん知らんジンイから電話があり「恥を知れ!ワシの目の黒いうちはお前は広島には帰らさんぞ!」と言われまじた。私しや広島に帰ったぞ。何を言われても私の気持ち

ちは決まっております3月13日は朝から支援者さんのお宅を回りました。『今月も支援してくださるなら今すぐ支援してください。私は宮城県に行きたいのです。』今思えば恥ずかしいぐらい非常識なお願いです。あの時の私にはこれしか方法がなかったのです。なんやかんや騒動して3月14日、宮城県仙台市に行つたわけですが想像を絶する光景に「来るんじゃないかった。」広島へ逃げ帰りがたかったです。3月15日

津波が襲つたであろう場所からドロドロになった犬を見つけてからは気持ちが一転し、そりやく張り切りました。3月16日犬1匹と猫4〜5匹を救出していったん広島に帰りました。広島に帰ったら仙台市荒浜地区での私たちの救出映像が全国に流れたらしく、いきなりヒーロー扱いです。宮城に行く前の私も宮城から帰って来た私も同一人物何ひとつ変わっていません。



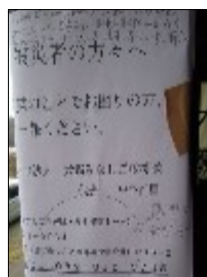
3月20日再び仙台へ。元々の支援者さんの協力で石川県までは新幹線、北

陸本線で行き、そこからレンタカーで宮城県へ。私たちはこの後1ヶ月ぐらいの間に一気に年を取りました。仙台市荒浜地区、2度目に行つた時は海の水が引いており、田んぼと道路の境界がわかり同時に津波被害に遭い命を落とされた方々のご遺体もよく見えるよう



になつていました。興味深いことにこの現象は海に近い場所で見られました。が少し離れると逆に海水が引かずいつまでもいろんなものが浮かんだ状態でした。1mぐらいの海水で完全に浮いています。宮城から福島までの太平洋沿いはこんな光景が永遠と続いています。

ました。その頃はまだ犬猫がいるからという理由で避難しない人も多くてその方たちにもフードを支援をするのも楽しかったです。自衛隊のお兄ちゃんから犬猫の情報をお兄ちゃんから犬猫の情報を仕入れては1軒1軒回って給餌給水そして張り紙して福島で活動していたら宮城名取市の被災者から「犬を見かけたが自分はどうしようできない助けに行つて欲しい。」とのSOSが入り福島から宮城へ。震災から10日前後はまだ20km圏内も通電して



紙して



電して

3月20日、当時はまだ福島原発20km圏内も警戒区域指定ではなく立ち入りは、あくまでも自己責任。避難勧告状態。自衛隊員が1軒1軒家を回って避難するよう伝えていました。自衛隊員からは放射線物質が付着しにくい雨ガッパみたいなビニール製を着るよう注意される程度でした。それだけでも私的には面倒なので自衛隊のハマー(車)を見ると、「とりあえずカッパを羽織る」そんな感じなんとなんかやり過ぎしてい

信号は生きていました。誰もいない町に信号。正直とても怖かったです。情報通り津波で破壊された町でリードが引つかかり動けなくなっていた犬を保護。その夜、



名取市内の駅の駐車場、車中泊し翌朝保護場所を特定するため、犬がいた場所へ。真つ暗闇の夜中にここを犬を探して歩くわけですから『怖い』を通り越しています。私は何度も心臓が停まる思いをし怖くて怖くて泣きながら犬を探しました。その後岩手県で猫のキャラメル一家を飼い主さんより保護。キャラメル一家は今もウチに居ます。あの時この家族が私に相当勇気をくれました。

再び福島へ。南相馬市小高区で縄を咬みちぎり放浪していた犬を発見し保護。同じく南相馬市小高区で歩きすぎて肉球をつぶしていたダックスを発見し保護。この道をひたすら歩いたものと思われず。この後約一ヶ月給餌給水に通い4月21日最後の日、飼い主さんがお迎えに来られたので任務終了しました。



3月22日私の誕生日広島への帰路、生まれて初めて見る猪苗代湖白いのは雪です。犬3匹と猫8匹と人間2人ハイエースで車中泊しながら精神的に疲れ切ったまま広島へ帰りました。帰るとすぐに静岡県富士市に終生飼養ホーム入居犬のお迎えに向かいました。



時効になったお話。「3日後には予約が入っているから必ず返してください。」と念を押されたレンタカーのマイクロバス。「もちろんです。」と威張って言い切った私達4人組。3日では絶対に帰って来れない東北へ出発しました。(確信犯です。)

「広島の人から言われていたので「さらに恥になつてやろう。」と【広島】



の文字わざわざ書き足しました。とてもきれいだっただマイクロバス、3日で返すつもりが行きがかり上3ヶ月借りっぱなしになりその間、中型雑種のガウガウ犬が乗っては降りるを繰り返して座席はかじられまくり。私たちが返した後このマイクロバスは廃車になりました。「大変申し訳ありませんでした。」

宮城県石巻市の住宅から白猫2匹の捜索依頼が入り現地へ。仙台市荒浜地区はほとんどの家屋が流されていきましたが、逆に石巻市は家屋が残っていました。偶然なんですがこの時の白猫2匹の預かりさんは、ちばわん代表桂代ちゃんの叔母さんなんだそうです。

お互いウマが合つてちばわんとみなしごはTNR活動で協働しています。その活動を支えてくれているみ



なしごバスは、またまたまたまた日野で修理中。来週頭には戻って来るかな？

『どなたか新車の大型バスを1台ください。』修理代がかなわんです(涙)。

### 三月の予定

- ▼置き去りにされた命「ハル」公演
- ▼オリジナルグッズ販売
- 【8日】東京笹塚フアクトリー (開場13時30分、開演14時)
- ▼置き去りにされた命「さくら、ミケ」公演
- ▼オリジナルグッズ販売
- 【9日】東京笹塚フアクトリー (開場13時、一部開演14時、二部開演15時)
- ▼福島被災動物保護活動
- 【11日】20km圏内
- ▼宇都宮市TNR一斉手術
- 【12日】
- ▼栃木拠点TNR一斉手術

NPO法人 (特定非営利活動法人)  
**犬猫みなしご救援隊**  
 www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊  
 〒731-0234  
 広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2  
 TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

- 【13、14日】
- ▼館林ドックショー
- 【16日】群馬県館林市市庁舎前広場
- ▼東京都葛飾区TNR一斉手術
- 【18、19日】東京都葛飾区水元公園駐車場
- ▼広島TNR学習会
- 【22日】犬猫みなしご救援施設内

### みなしご通信

(バックナンバー)  
 みなしご公式ページ(https://www.minashigo.jp/newpaper/index.html)に掲載中。